

会 議 録

- 1 開催した会議の名称 第36回男女共同参画推進審議会
- 2 開催日時 令和元年9月3日(火曜日)10時00分～11時30分
- 3 開催場所 県庁 庁議室(新館4階)
- 4 出席者 中西委員、田坂委員、東委員、江口委員、城戸委員、
高見委員、辻村委員、石橋委員、長尾委員、西本委員、
久米委員、福島委員、副島委員、吉丸委員
事務局：甲斐局長、小林課長、土井副課長、金ヶ江係長
- 5 議題
 - (1)「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」について(審議)
「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査票(案)」【資料1】
R1調査項目比較検討資料 ……………【資料2】
審議会意見 ……………【資料3】
 - (2)その他
- 6 会議録
 - (1)開会
 - (2)甲斐局長あいさつ
 - (3)中西会長議事進行
【議題1】「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」について事務局より提起
資料3「審議会意見とりまとめ」審議委員からの御意見、事務局案について説明。
 - (4)質疑・応答
(委員)インターネットで回答ができるとのことだが、スマホも可能か。今はほとんどの方がスマホを利用しているのでスマホからの方が良い。
(事務局)QRコードを付ける予定。
(委員)5年前に実施して、この間に何を検証したいと思ったのか。今後の調査でどのような項目を捨てることに軸足を置いているのか。大前提となるものを聞きたい。
(事務局)3次から4次に移るときに男性の家事、育児参画をポイントにしていた。男性の意識改革を掲げ取り組んできていると。そしていま、実際に大きく変わったところ、目に見える効果が把握できていないため、継続の必要性を感じている。今回の調査では役割分担意識が残っていることを深堀している。家事について具体的な質問を行い、数値で表すことができる内容にしており施策に活かしたいと思っている。

(委員) 男性の意識の課題が検証したい部分となるか。

(事務局) 浮き彫りになれば施策に取組みたいが、効果が出ていないため、詳しく分析して活かせるようにしていきたい。

(委員) インターネットで回答する場合、すべてに必須をつけるのか。答えなくていいものには、答えなくていいよという体制でいくのか。県としての考え方をお聞きしたい。

重複回答を解消する対策はできるのか。回答と解答が混在する。

(事務局) 基本、すべてに回答を求めたい。以前の調査では最後に「わからない」という項目があったが、今回は「わからない」を外している。良い調査結果を求めるために、自分の気持ちに近いものを選んでもらうようにしている。インターネットにおいても必ず回答してもらうようにしたい。

重複回答対策は、以前はできていなかった(お願いベースだったため)が情報課、統計課に確認をして、システムでできるようにしたい。

(委員) 問8-1に家族従事者とあるが、どういう方を言うのか。

(事務局) 家族従事者は親が経営者で子が従業員の場合としているが、他県のアンケートを利用したため、再度検討したい。

(委員) 雇用者とはどういうことか。

(事務局) 被雇用者のこと。問8-1は語句の整理をきちんとしてほしいと思う。

(委員) 問5-1 問5-2 こども、子ども 統一した方がよい。 問8-4 2 もつ、持つ 統一した方がよい。 問8-4-1 7 簡単にできる という言葉が適切かどうか 問8-4-2 望ましいとですか。 望ましいと思いますか。 問11 4 2, 3日かならないか は不要 問16 2がふたつある 問18 3, 4と答えたもののみという表現だとどのことを言っているのか分からない 理由記載欄 記載ください 上から選んで下さい 問21でひとつでも「5まったくない」以外の答えを選んだ方に まわりくどい 問21で ~ でひとつでも1~4の答えを選んだ方がわかりやすい 問21-3 わからなかった、分かった 統一したほうが良い 問24 11 PR 啓発の方が意図として合っている。PRは宣伝のようになる。P18 家族従事者・雇用者の言葉の利用について再検討の必要がある。

(事務局) いただいたご意見をきちんと整理する。

(委員) なるべく答えて頂くためにインセンティブが付くとかあればよい。若い方からの回収率を上げる方法を検討してみても。ページ数が多い。疲れてしまうので回答しやすい項目に変えたらどうか。問21で回数を聞いているが、私なら一回でもいやなので、聞く必要があるのかと個人的には思った 質問を減らして回答しやすいようにしたらどうか 来年度の事業に活かす項目を盛り込んでいくことはよい。

(事務局) 回答する側に立った貴重な御意見ありがたい。回収率が上がるように検討したい。

(委員) 問12は女性の活躍に対する意見を引き出すことができないように感じる 意識について聞いてみたらどうか。

(事務局) 何が原因で進まないか、何が必要なのか案を入れていたが質問数を減らすため削除した。

(委員) 少数派プレッシャーについて調べてみると良い。

(事務局) 参考にして、項目を見直したい。

(委員) 問8-1 家族従事者、雇用者 はわかりづらい。回答しやすい表現にした方がよい。

問16 「あてはまるものをすべてに をつけてください。」のあてはまるものをで「を」つけたりつけなかったりしているので統一した方がよい。

(事務局) 回答者が回答しやすい表現にしたい。

(委員) かなり時間を費やすアンケートであった。やり方は検討が必要 問21-2 6、7、8の違いを一般県民は識別できないのではないかと。どういうデータを求めているのかが不明。

(事務局) 一般の方にとって同じだと思うので再考する。

(委員) 問8-4-1は質問が環境、福利厚生といったワークライフバランスに偏っている。社会貢献、スキルアップなども入れた方がよいのでは、選択肢がある方がよい。問15もワークライフバランスよりの回答になっている。参考にされている調査があるのか。やりがいを持つ仕事を求めている人がどれ位いるかも見てよいのでは。問12 自分という言葉が入っていると答えづらくなる。

(事務局) 26年度の調査をそのまま使っている。検討したい。

(委員)・問8-1 短時間勤務正社員は26年度から入っていたのか そんなに普及していないと実感していた。また、問8-1 左側の区分が必要か。

(事務局) 今までの統計がこの形にしていたのでこのようにしているが、なぜこういう分け方にしていたのか整理してみたい。

(委員)・問21 は「のぞまない」にしてはどうか

- ・問いがいつまで続くだろうと思う事がある。何分とか、何分くらいかかりますと入れたらいいかもしれない。
- ・何%進んでいるという表示がでる場合もある。
- ・郵送で送られるので全体量はわかるのではないかと。

(事務局) できるだけ負担がないようにしたい。

(委員)・毎朝「おしん」を見ているが、1985年代のドラマであるが、あれは昔のことではなく今もまだある。夫が家庭において機能しないことに悩んでいる女性は多い。この住民意識調査がこれを変えていくものにできたらよい。とつきやすい内容にしてほしい。今の若い世代はマンガで夫婦のあり方を学んでいる。問21-2 子育てサークルも追加したらどうか。「おしん」を佐賀県民はやめよう。

- ・表紙も柔らかい方がよい。
- ・県の意気込みを感じ取れるアンケートにしてほしい。
- ・表紙が固い。
- ・調査だけを送るのか、郵便物に啓発(相談窓口等)も加えたらどうか。
- ・ファイルや鉛筆などが一緒に送られてくることもある。
- ・全部回答するのに30分位かかった。項目がたくさんある割にはどうクロス集計を付けていくのかが見えなかった。問21 はここまで細分化する必要はない。この項目に当てはまらないがもっと他の被害にあっている方がいるのではないかと。これでは拾えない方々が結構いると思う。回答していく中で、思い出していやな思いをされる方もいるのでは。量が多いのに結果がどう繋がるのかが見えない。

(事務局) 間に合えば、検討させていただく。

(事務局) 今後のスケジュールについて説明。

【議題2】その他の項目で事務局から何かあるか。

(事務局) ない。

(5) 閉会